

新規 B 型肝炎スクリーニング法の精度に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024 年 2 月 8 日 ～ 2024 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

院内 HBs 抗原測定系の変更が B 型肝炎ウイルス検出と院内感染対策に及ぼす影響

〔研究目的〕

B 型肝炎のスクリーニング検査として、院内では血液検査で HBs 抗原を調べています。本研究では新規に導入された HBs 抗原法の精度が以前の測定法よりも高いか、またその結果が院内感染対策に影響を及ぼすか検討します。

〔研究意義〕

本研究を針刺し切創後の経過観察方法の再検討に役立てます。

〔対象・研究方法〕

当院に通院されている B 型肝炎の患者さんと B 型肝炎ではない患者さんの血清を無作為に選び、CLEIA 法と CLIA 法とで差があるかを確認します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院第四内科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報を加工し保護します。研究終了後は帝京大学臨床研究センターにて 10 年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：菊池健太郎 病院教授
研究分担者：高井敦子 助手
所属：帝京大学医学部附属溝口病院第四内科学講座
住所：神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 TEL:044-844-3333（代表）〔内線 3213〕